



梅雨の時期、日南町ではホタルが活発に飛び回っています。また、雨上がりの山の谷間には霧が立ちこめ、もののけ姫の世界のような幻想的な景色を見る事が出来ます。雲海で有名になった地域にも負けない、美しい景色がこの町にもあります。

ですが林業にとっては、この時期は苦しいものです。雨のせいで木が乾かなかつたり、足元が悪くて作業に入れない事もあるなど、困った時期です。(小規模で自伐林業をしている、NPO 職員の所有林などは特にそういった感じです)

実家ではこの時期は薪割りの時期になります。庭で汗をかきながら木を割ります。薪ストーブに、薪の風呂にと、この地域ではまだまだ古くからの木質エネルギーを活用した生活が残っています。こういった生活をしていけば山を見る目も、自ずと違ってきますね。

バイオマスを利用した熱源供給や発電は、何メガという大規模なものも、個人の家庭で使うような小規模なものも様々です。地域にあったバイオマス活用が、地域の生活を更に豊かに、そして山の資源を使う事で山林整備が進む・・・そんな地域循環型の資源活用を、今こそ考える時かもしれません。